

拡張する照明 vol.2

法政大学 デザイン工学部 システムデザイン学科 ヒューマニティデザイン研究室

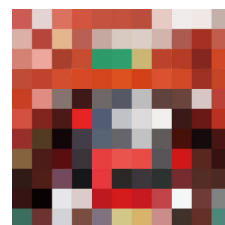
コンパクトなサイズから一瞬にして拡張する構造を考えるプロジェクト。既存の器物で用いられる拡張構造を転用発展させ、新たな照明器具へと展開する。また、拡張が同時に光の量や質、照射範囲を変化させ、照明器具としての機能性を強化することを目指している。



風景に融和するストリートファニチャーのリーディングデザイン

首都大学東京 システムデザイン学部 インダストリアルアート学科 インテリアデザインスタジオ

暮らしの中でときどき出会うストリートファニチャー。強固な存在ではないけれど、違和感なく風景に付いているかという、決してそうとも言えない気がする。我々は「風景との融和＝フラット」と考え、景色から導き出されるリーディングデザインを提案する。



re;new

武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科 インテリアデザインコース

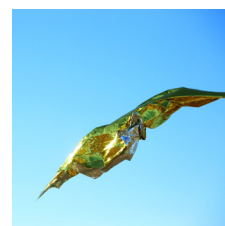
わが国でリサイクルに取り組む業界は廃棄物の処理に関する法律を軸に据えた強固な制度的枠組みの中で、産業としての成長が困難な業界構造にとらわれてきた。サブテーマを“re;new”として想像力と造形力を武器に新たな切り口で再循環の未来を考える。



Flying Curtain / Dancing Landscape

湘南工科大学 実験的空間デザイン研究センター (ESDR)

空飛ぶ絨毯ならぬ空飛ぶカーテン、鏡面半透過素材の大きなカーテンは、その場の風景を褶曲、歪曲させて新たな風景を作り出す。風の力を受け不意の動きをするカーテンは、それ自身で、さらに写し込む風景で、あたかもダンスする「二重の風景」を作り出す。



TATAMU

多摩美術大学 生産デザイン学科 プロダクト専攻 studio3

テーマは『TATAMU』。使用時と収納時とで形を変えコンパクトになる。或いは平面材や柔らかな材を活かし、構造の工夫によって3Dフォルムをつくる。『TATAMU』切り口からSPEED FLATの新たな可能性、印象や使用シーンの創出を画策する。



customize

金沢美術工芸大学 大学院ファッションデザインコース・造形表現II (ファッションデザイン)

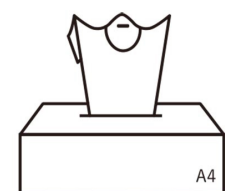
大量生産、消費に加え様々な情報が溢れかえる現代において、我々は多くの情報の中から取捨選択し、それらをカスタマイズさせていく必要がある。それにより我々のニーズに適うフラットなものが誕生し、その結果選択することのスピード化が図られる。



A4 / Travel Close

多摩美術大学 生産デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻

旅先で宿泊に必要なものをコンビニで買う。A4 サイズパッケージの画一化された条件において、旅人へ服を通じてメッセージを込められるだろうか。このプロジェクトでは、AXIS発表後、ホテルの客室でスタイリング撮影をおこなうためのワークインプログレスである。



モバイルオフィス

女子美術大学 ヴィジュアルデザイン専攻

閃いた瞬間に指を動かし、フィニッシュまで一気に仕上げることを可能にするモバイルオフィス。スマートフォンの出現は、現代社会における人々の働き方に大きな変化をもたらした。生活の中で繰り返されるON&OFF、そしてその間をつなぐ隙間の可視化を試みる。

